

「広瀬川の清流を守る市民会議」に参加して

二月二十日、如月の風が冷たい日曜日、仙台国際センターで開催されました。

「広瀬川清流を守る条例」制定から三十年を記念して、東北白鳥会渋谷会長の基調講演があり、斎藤さんと二人で出かけました。

会場は若い人々の熱気とパワーで寒さは吹き飛んでしまうような雰囲気でした。会場及びロビーに貼られた三十年前の広瀬川の写真展、これまでの経緯と活動のパネル展等に、長期間に渡る関係者の努力が手に取るように理解出来ました。

会は藤井市長の挨拶で始まり、続いて当渋谷会長の基調講演に入りました。

「条例制定から三十周年迎えて」の演題にふさわしい内容で、条例制定に尽力され水環境ネット東北副代表理事としての現在に至るまで、清流保持と景観との調和を組み込み前例のない活動が、苦節三十年の記憶を引き出され詳しくお話されました。

現在、市街地を流れながら鮎釣りが出来るほどの清流は、長年の弛みない大勢の方の努力の賜物ある事を実感し、敬服の念でいっぱいでした。

会場の三方にはサイン入りで布製の大きな鯉が揚げられ、前方のテーブルの鯉は自由にサイン出来る用になってましたので、私も藤井市長さんの下に大きくしゃっかりとサインして来ました。

この鯉が鯉のぼりとなって、広瀬川の上空を悠々と泳ぐ日

を期待しながら帰路につきました。

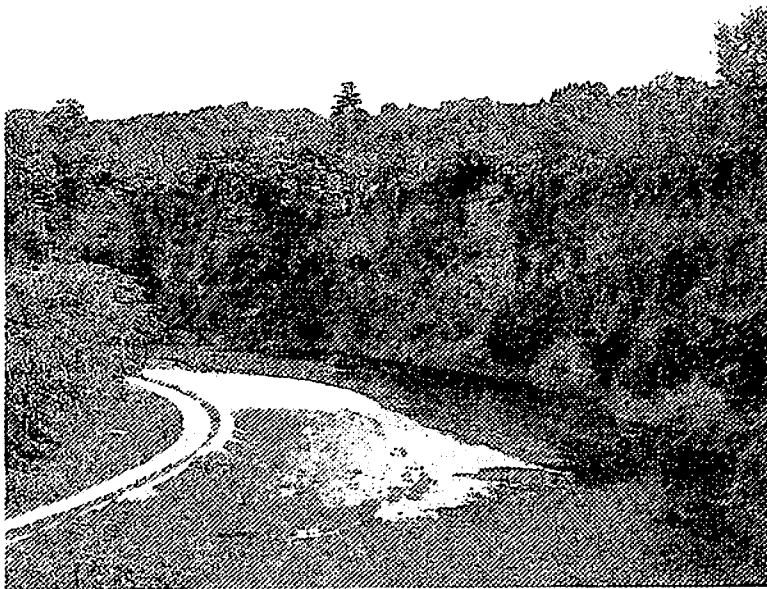
渋谷会長さん貴重なお話ありがとうございました。

そして本当にお疲れさまでした。

仙台の市民こそぞりて愛でし川四季を映して弛まず流る
街中を清き流れの広瀬川花びら浮かし春をつれゆく

ボランティア 飯田 澄子

広瀬川の清流



【山形県支部通信】

活動報告・協力者を求む

山形県支部長 吉田清治

春の光がまぶしく感じられる頃となりました。二〇〇四年は、妻と共に自宅にて日々を暮らすことが出来き、大きな恵みと感謝です。一応は元気に生活しておりますと申しましたも、食後は満腹にしますと息苦しさを感じます。夜パジャマの着替えの時も注意しないと、息苦しくなりますが元気で、リハビリの成果ですね。村上会長に声をかけて頂いて、仙台での呼吸器教室の参加させて頂き、また千住先生に招かれて長崎県諫早市の長崎呼吸器リハビリクリニックに入院、診療と訓練ができました成果なんです。

お送り頂きました横浜もみじ会報、北海道低肺誌ありがとうございました。拝読いたしました。何の奉仕もまゝならぬ自分で申し訳なく思います。

白鳥会山形県支部長とは申しまでも、会誌の発送と山形市内での催される身障者団体の会合への出席、それも体調を見ながらです。会誌発送は支障ありませんが、会議等の出席は、荷が重いので「協力者」を求めておりますので、よろしくお願いいたします。

「別紙」の要望書への実現には至っておりません。呼吸器障害者の存在はアピールがなされと言うことです。山形県や市各団体に東北白鳥会山形県支部の存在のアピールが、ようや

く目に止められるようになりつつあります。創立二十年経ちましたが、仙台市と山形市ではあまりにも違い過ぎます。会務に携わっての今の気持ちです。「協力者」の出現が急務と思えます。

この一年間、山形市で行われた会議等についてご報告させていただきます。

【平成十六年度山形県難病連の会議等について】

◎ 平成十六年四月十一日・・・・・・・・・・出席

- ・ 前年度の決算と新年度の予算について
- ・ 難病相談支援センター設立について
- ・ 県の補助金について

◎ 同 五月八日・・・・・・・・・・出席

- ・ 県各担当課との懇談会について
- ・ 難病相談支援センター設立について

◎ 同 六月二十四日（市建設会館）・・・・・・・・出席

- ・ 県各担当課との懇談会について

- ◎ 八月一日(国際交流プラダザ)・・・・・・・・欠席
 - ・ 県難病連講演会
- ◎ 同 九月四日・・・・・・・・出席
 - ・ 難病相談支援センター
- ◎ 同 十一月六日
 - ・ 難病相談支援センターに関する県より内示
- ◎ 同 十一月九日(県身障者福祉会館)・・・・・・・・出席
 - ・ 災害時における障害者の安全対策と課題について
- ◎ 同 十一月十九日(県総合社会福祉センター)・出席
 - ・ 県障害福祉課長との福祉関係団体の要望に関する個別懇談会
- ◎ 同 十一月二十五日(あこや会館)・欠席(入院中)
 - ・ 県各担当課より要望書への回答と意見交換
- ◎ 同 十一月三十日(市役所会議室)・・・・・・・・出席
 - ・ 第五回県難病連と市担当課長との懇談会
- ◎ 同 十二月十日(県身障者福祉会館)
 - ・ 油川 政子氏・・・・・・・・出席
 - ・ 県知事と身障者代表との懇談会
- ◎ 平成十七年二月九日(県医師会館)・・・・・・・・欠席
 - ・ 県医師会と県難病連との懇談会

【山形県支部の皆様にお願ひ】

会員の方、ご家族の方そしてお知り合いの方で、吉田支部長のお手伝いをして下さる方を求めています。

会報の発送や行政への働きかけ等、補佐して下さる方がいらっしやいましたら助かります。

是非ご協力お願いします。

※ご連絡先

- ・ 東北白鳥会山形県支部
 - 支部長 吉田 清治
- ・ 事務所 山形市印役町二丁目十二番三十五号
- ・ 電話 〇三三(六二四)五〇六〇



【遺志を継ぎ 更に発展を！】

沖繩・浦添市 宮城 征四郎 先生

（群星沖繩臨床研修センター長）

粗葉で失礼させて頂きます。

沖繩では今が一年中で最も寒い時期ですが、御地では如何ですか？・・・お伺い申し上げます。

先日は白鳥会会長の村上さんご逝去のお知らせを頂き、驚きました。本日に頑張り屋で、日本の在宅酸素療法の発展に多大な御貢献をされた方でした。御冥福をお祈り申し上げます。御家族の皆様にも、是非、宜しくお伝え下さい。

遠方にてお訪ね出来ないのが残念です。白鳥会の今後の御活動にも支障があるものと思われませんが、どうか、皆さんで故人のお志を受け継いで、更に発展させて頂けますようにお願い致します。

寒さ厳しき折から、一層の御自愛をお願い申し上げます。

『会員便り』

【私達の声を訴え続けて！】

京都・峰山町 上羽 広義

春寒の候。

皆様御健勝の事と存じます。過日は白鳥誌一六八号お送り頂き有難く拝見しています。福祉政策も後退しそうな今年度ですが、会の活動の補いにより、低肺者の治療も従来通り続けられ不安なく生活出来ることを願っています。

行政や医療機関に引き続き、私達の声を訴えて行きたいで

す。

【斉藤事務局長さんに】

岡山・倉敷市 森口 雅子

前略ご免下さいませ。

先日は見も知らぬ私にお便り下さりお知らせ下さった事感謝致します。

私は、村上さんとは一度もお逢いした事はご座居ませんが、今を去る事十数年前に新聞の記事で存じ上げ、その後入会させて頂きお世話になり今に至りました。でも御地は余りに遠くましてや身障の身では出向く事もイベントにも出席不能の為、一昨年会費切りと共に退会させて頂きと申し出て居りました。その後はお便りだけは続けましたと云う事でしたが、身体が悪いと云う事も知らずましてや、お亡くなりになって居られたなんてショックで言葉もありません。

お兄様の方に弔便をお送りしておきました。引き続き村上さんのご遺志を受け継いで頑張って居られるご様子きつと草葉の陰で喜んで居られる事でしょう。

（多忙中に本当に有難うございました。寒さ厳しき折柄、どうか皆様ご自愛下さいませ。）

【村上様と出合い】

秋田・昭和町 黒澤 耕造

平成七年九月二十九日の朝刊新聞に、秋田の息切れ仲間を助ける集い」と出ておりました。私は復員後結核のため、随

分苦しんでいましたので、妻に勧められて直ぐ秋田市に行きました。

会場に入りましたら酸素吸入器をつけた患者さんが四人居りました。村上台長様からよく来て呉れたと喜ばれ、すぐ病状や氏名・年齢を聞かれ、よく今まで我慢して来られと言われました。私は昭和十七年軍需工場に徴用され、そこには多くの結核菌保有者が居りましたので、感染したまま海軍航空隊に入隊し、復員後すぐ右肺人工気胸を三年間続け、その後働きましたが、間もなく胸水が浸出し呼吸は苦しくなるばかり、そのうち臍胸となり発熱が続き腸結核にもなり、昭和三十年近くになりやっとストマイ、パスなどの薬で落付きましたが、息切れと疲れ咳・痰などで、これまで救急で四回入院しましたことをお話ししました。村上台様は非常に心配され、いろいろ助言されました。私もこれでやっと助けられたと思いいホットしました。その時の村上台様はマリヤ様のように見えませんでした。すぐ入会の手続きを取りました。

その後、平成九年十一月八日にも来県され時、男鹿半島を見たいと言っておられましたが、私一人では案内出来そうもなく残念でした。それからハガキ・手紙・電話などで、数えきれないほど励まされました。

ところが村上台様は時々入院を繰り返されていたとのこと大変驚きました。肝臓病とのこと、私の叔母も肝臓が悪く入院しながらシジミ貝汁を飲んで九十四才まで元気でした。村上台様もシジミ貝汁で快復されたこととお喜びました。退院されると、会のためいろいろ奔走され静養出来ず、苦勞が重なったのが原因ではなかったかと、自分なりに考えております。

村上台様より最後のお手紙は、平成十六年二月六日付けで、

これから入院と脅かれてあり、忙しくて髪を梳かす暇もなくターバンを巻いて用務を足しているとか、やっぱり過勞ではなかったかと悔やまれます。 ”どんなことがあっても、前向きに生きてね”と誓いてあり、何となく気がかりでした。逝去の知らせがあった時は信じられませんでした。

酸素は平成十二年四月から吸いはじめ、その次の日の朝、田に行つて客土を運んで見たら体調がよくて、未だこんなに体力が残っていたのかと感謝しました。今こうして居られるのも村上台様と白鳥会のお蔭で御礼の言葉もありません。

私としては、村上台様の励ましが何よりの生き甲斐でした。去痰方法、呼吸法などこと細かく教えて下され、地方の先生以上でした。今こうして生きていられるのも村上台様や会の皆様のお蔭と深く感謝しております。

【よい情報に感謝！】

宮城・亘理町 石田 富美江

暦の上では春ですが、寒い日々が続き、インフルエンザ流行のニュースなども流れて、心も身体も冷えるような毎日が続いております。いつも白鳥誌を通じて私達に良い情報を伝えて下さる皆様に心から感謝しております。

過日、電話でお話いたしました、インフルエンザ予防接種の受領書のコピーを同封いたしましたからよろしくお願い申し上げます。酸素と夜間は人工呼吸器を使用しております。外出できるのは、月一回の通院位で、コピーをとるのも人頼み、時間がかかり遅くなってしまうました。

今後ともよろしく。会長さんをはじめ皆様も健康には、くれぐれもご留意下さい。

「編集後記」

○とうとう宮城県も、インフルエンザの警報を発表した。二月になって患者が急激に増えているようだ。私も不覚にもインフルエンザに罹り、発熱、頭痛、咳、体の節々の痛み、三週間も休んでしまった。漸く回復し、元氣を取り戻しつつある。

○青森県を始め日本海側の秋田、山形県は大雪で被害が出ている。会員の方は如何かと心配になる。私も会津で三年間経験したが、屋根の雪下ろし、毎日の庭、道路の除雪は大変である。皆様のご健康を願っている。気象予報では桜の開花も遅れ、桜前線は一週間くらい遅れると。仙台は三月二〇日頃に開花の見込みなそう。一方花粉の飛散は物凄く多いとのこと。花粉症の方は万全の予防策を。

○川島先生のお話では「簡単な計算、読み書き、音読、散歩等の運」を続けると、脳が元氣になり物忘れを予防出来るそうです。呼吸器リハビリとともに、実行したいと思う。

○今年はいんシユタイン博士が、相対性の理論を発表して一〇〇年。呼吸器疾患に大きな効果のある医療、薬品等が発表になれば、とても嬉しい。正夢になればと願っている。

○一人で無着陸無給油の世界一周飛行に成功した、六〇才のアメリカ人がいる。飛行機は一人乗りの狭いスペース大部分は貯油装置。アメリカ、ヨーロッパ、日本と飛行、ハワイ付近では燃料が残り少なく心配したが、上空の追い風に乗りアメリカまで、三六、八〇〇Kmを六七時間、殆ど寝ないでミルクを飲んで飛行したと。凄い。

○花柳雅好先生の「舞いそめ」に続き、チャリティコンサートもご協力頂けることになり、松尾さんが中心で準備を進めている。先生方皆様の変わらぬご支援に、心から感謝申し上げます。

○吉田山形県支部長さんが、山形市で支援下さるボランティアさんを探している。おられたら、是非紹介して下さい。(大友)

御入会の方法と会費のお知らせ

会員又は、賛助会員に御加入の方は

左記住所宛に御連絡下さい。

会費

入会金 千円 年会費 三千円

仙台市内会員 入・千円 年会費三千五百円

(仙身協会費 五百円を含む)

事務所

仙台市青葉区五橋二一―二
仙台市福祉プラザ八階

東北白鳥会

〇三―二九一―三三〇

郵便振替 〇二二〇〇―四一〇〇六七四五

七十七銀行本店 普 一〇〇―五三七二八二八

山形県の方は

事務所 山形市印役町一―十二―三十五

東北白鳥会山形県支部

支部長 吉田清治

〇二二―六二四―五〇六〇

郵便振替 〇二二五〇―五―三七〇〇二

山形銀行鈴川支店 普 六三一―六一二

恐れ入りますが、郵便振込紙で、

受領書に代えさせていただきます

白鳥会は貴方の会費で維持されます

会費納入をよろしくお願い申し上げます。